

平成 29 年 11 月 29 日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

代表取締役社長 野崎 秀則

新宿駅東口地区のシンボルロード「新宿通り」で 複合型社会実験を実施

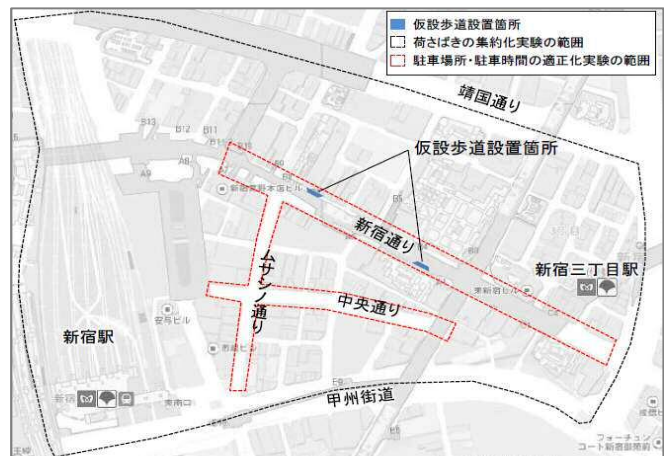
株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、新宿区より「新宿通り賑わい創出社会実験等実施業務委託」を受託し、地元団体、学識経験者、警察、国、東京都及び新宿区で構成する『新宿駅東口地区歩行者環境改善協議会』と連携しながら、荷さばき集約化と道路空間を活用した、まちの賑わい創出社会実験（期間 平成 29 年 10 月 14 日（土）～平成 29 年 11 月 30 日（木））を実施しています。

新宿駅は、一日の乗降客数が 360 万人を超えと言われ、世界一利用者の多い駅としてギネスブックにも認定されるほどの巨大ターミナル駅です。この新宿駅の東口地区は全体が商業地域であり、新宿通りを中心に常に多くの来街者で賑わう日本有数の商業・サービス業の集積地です。

一方で、地区内では路上荷さばきが頻繁に行われ、荷さばき駐車場所を探索するうろつき車両や違法路上駐車、時間超過のパーキングメーター利用が発生するとともに、歩行者が休憩等に利用できる溜まり空間が少なく、歩行者優先の環境を阻害している要因となっていました。

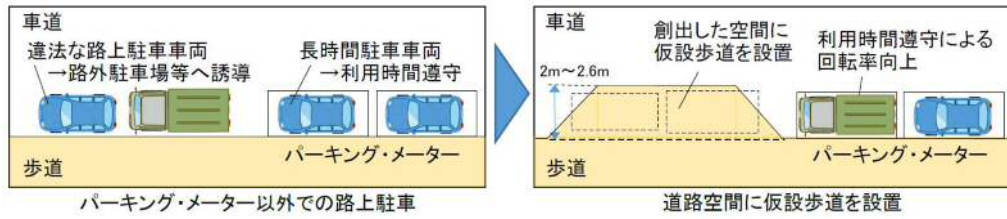
＜社会実験実施範囲＞

今回の複合型社会実験では、新宿駅東口地区における荷さばき車両等の駐車適正化と集約化にあわせて、シンボルロード「新宿通り」に道路空間を活用した仮設歩道「SHINJUKU STREET SEATS」を設置することで、来街者の休憩、待ち合わせ、街のフォトスポット等の機能を提供して、賑わいと歩行者優先空間の創出に取り組みました。また、仮設歩道「SHINJUKU STREET SEATS」の維持管理は、協議会が主体となって清掃やパンフレットの補充等を行いました。



当社は今回の社会実験によって得られた効果と残された課題を検証し、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、その後の新宿駅東口地区における「歩行者主体の回遊性のあるまち」「新宿通りモール化」の実現に向け、新宿区及び新宿駅東口地区歩行者環境改善協議会への支援を行いながら、同地区及び新宿区の更なる活性化に貢献して参ります。

<道路空間への仮設歩道設置の方法>



<SHINJUKU STREET SEATS 利用の様子>



<新宿モール&パサージュ計画 歩きたくなるみちづくり Web サイト>



<http://shinjuku-east.tokyo/>

<荷さばき集約実験 一次デポの様子>



<荷さばき集約実験 二次デポの様子>



<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL:<http://www.oriconsul.com/>
統括本部 宮内、内藤